

令和6年度森林環境譲与税の使途について

1 令和6年度収入分 24,944 千円

【充当額等内訳】

単位:千円

No.	事 業 内 容	事業費	充当額
1	区立小中学校の学習机・椅子購入に係る国内産木材を使用した製品購入	26,086	7,686
2	区立小学校の書架購入に係る国内産木材を使用した製品購入	4,915	2,457
3	保育園大規模改修工事に伴う初度調弁(整理棚・座卓等)に係る国内産木材を使用した製品購入	5,995	5,995
4	区内施設での環境ミニイベント(ワークショップ)に係る国内産木材活用	552	552
5	福島市・村上市・甲府市と連携し、森林体験ツアーなどのイベントや森林整備を実施	5,529	5,529
6	特別区と多摩地域の市町村、及び東京都との協働により、多摩地域の森林整備やカーボン・オフセット等に取り組む「多摩の森」活性化プロジェクトを推進	2,725	2,725

2 基金積立金充当分 8,343 千円

【充当額等内訳】

単位:千円

No.	事 業 内 容	事業費	充当額
1	区立小中学校普通教室化工事及び区立小学校増設校舎建築工事に係る国内産木材活用	7,764	7,065
2	児童遊園遊具改修工事に係る国内産木材活用	5,878	1,278

基金積立金充当分は、令和2・4年度に、森林環境譲与税から公共施設等整備基金へ積立てを行った12,000千円から充当したものです(基金残高3,657千円)。

- 区内には自然公園などが存在するものの、大部分が宅地や商業地であるため、本格的な森林体験の機会が限られている。
- このため、区民の方々が森林との触れ合いを通じ、森と人々の生活、そして環境との繋がりについて理解と関心を深めることを目的として、甲武信ユネスコパークを擁し、森林の奥深い魅力を発信する山梨県甲府市と連携し、森林セラピーを中心とした区民向けツアーを実施している。

事業内容

甲府市連携事業「森林体験ツアー」

- 令和6年5月25日(土)に山梨県甲府市への日帰り「森林体験ツアー」を実施。
- 専門ガイドと共に、豊かな自然環境を歩く森林セラピー(専門ガイドと巡る森林浴)を実施。森の香りや木漏れ日のゆらぎなど、森林環境が持つ癒しの効果を参加者に体験していただいた。
- 県内各所から寄進された数百種の樹木に囲まれる武田神社や、自然の恵みである甲州ワインのワイナリー見学も実施した。

【事業費】403千円（全額譲与税）
(譲与税は、ツアー実施費用や実地踏査に係る部分に充当)

【実績】ツアー参加者
区内在住・在勤の40代から70代までの19名が参加

取組の背景

荒川区では、令和3年6月に「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明。この表明を踏まえ「脱炭素社会」への転換に向けた対策を具体的に示している。その実践へ向けた協働の取組みの一つとして、森林が有する多面的な機能を体感する貴重な機会として、令和5年度より森林環境譲与税を活用した体験ツアーを開始した。



(出発前の健康チェック)



(セラピーの様子:森での寝転び)



(武田の杜からの風景)

工夫・留意した点

- ツアー先の「山梨県立武田の杜」は、森林環境の持つ保健機能の増進を目的に整備された「保健休養林」であり、森林が持つ心身への健康促進効果、森の中でのレクリエーションによる効果など、その快適性を五感で味わえるプログラムを設定した。
- 荒川区の他の森林関連ツアーが親子連れ限定の宿泊型なのに対し、本ツアーは中学生以上(未成年者は保護者同伴)かつ一人参加も可能な日帰り型とし、これまで参加が難しい年齢層などの方にも気軽に参加いただけるよう、利便性向上を図った。
- ツアー実施にあたっては、連携先の甲府市と緊密に協議を重ね、現地の状況、アクセス、プログラム内容等を詳細に検討したうえで内容を決定した。
- 「Jクレジット」を活用し、行程中の移動(電車・バス)で排出されるCO₂排出のオフセットを実施した。

取組の効果

- 参加者アンケートの回答では、「森林環境への興味関心が湧いた」との回答が100%を占め、ツアーへの参加が、森林環境への関心を高めるうえで、高い効果を発揮したことが分かった。
- 葉の香りを嗅いだり、落ち葉の上で寝転んだり、ストレッチをしたりという非日常的な体験を通して、「森林への親しみが向上した」との声もいくつか寄せられた。

基礎データ

令和6年度譲与額 : 24,944千円	私有林人工林面積 (1) : 0ha	
林野率 (1) : 0%	人口 (2) : 217,475人	林業就業者数 (2) : 3人

1 : 「2020農林業センサス」より、2 : 「R2国勢調査」より